

★ 操 作 方 法 ★

ページの上でクリックすると次のページを表示します。右クリックすると前のページに戻ります。

※ Macintosh で、マウスに右クリックの設定をしていない方は、キーボードの「control」キーを押しながらマウスをクリックすると前のページに戻ります。

※ iPad では、上下スクロールでご覧いただけます。

SPACE SHUTTLE PAVILION NOW

INTREPID

『続・僕のアメリカ』 林 保明



新つれづれ草復刊1号に発表した『僕のアメリカ』を読みながら、今度は何を書こうか考えていると、冒頭にオバマの名前が出ていた。

そう、あれから4年が経ち、折しもアメリカ大統領選挙の年だ。「じゃあ、またアメリカの写真にしよう!」と言う訳で、かくも安直にタイトルは決まった。

今度の旅も学会の論文発表（僕は技術者でもあります）にかこつけてアメリカの建築を見て歩くことが大義名分だった。でも建築家の知り合いが作ってくれた地図の文字が小さく、老眼鏡を掛けた目ではなかなか建物は見つからず、最終的には自分が育ってきた時代の歴史を辿る旅となった。

旅の始まりはニューヨークだ。世界有数の大都市、憧れのニューヨークである。でも飛行機のトラブルで6時間遅れとなり最悪のスタート。着くまでに20時間も掛かったせいか疲れは極限に達していた。いつもはすぐ外に飛び出すはずなのに「さあ、歩くぞ〜!」と言う気持ちは薄れ「とにかく寝よう!」、街になじむのに時間が掛かってしまった。

それでも、翌朝ハドソン川に面したマンハッタン島の西岸を歩いていると、昼間から酔っ払って居るようなおばあさんが一人ベンチに座っていたり、突然目の前に空母が現れ、しかもそのすぐ手前がドッグランだったり…、場末の風景には充分僕の気を引くものがあった。







タイムズ・スクエアの雑踏は歌舞伎町みたいで好きになれないし、昇りたかったエンパイア・ステートビルは街のあちこちから見えたが、セキュリティー・チェックが厳しく昇って降りるだけで2時間掛かると聞いて、あっさりと諦めてしまった。

セントラル・パークを歩いていると、ジョン・レノンを記念したストロベリー・フィールドで代わりばんこにポーズを取るカップル・・・、これもどうも馴染めない。サド・メル（サド・ジョーンズ / メル・ルイス・ジャズ・オーケストラ）の「セントラルパーク・ノース」(Central Park North : 1969) をイメージして、北の端まで行こうと地下鉄に乗ると急行運転をしていて、公園を通り越しハーレムの中に降りてしまった。なるほど雰囲気はがらっと変わってしまったが、昔と違って安全な街だと聞いていた僕は、別に躊躇する事無く、暇そうにしている警官の写真などを撮って堂々とセントラル・パークまで戻った。

自由の女神はスタテン島へ行く無料フェリーの上から眺めた。フェリーの両側には機関銃を構えた警備艇が併走している。テロに備えてのものらしいが、何か起こったらこちらに向けて機関銃を発砲するのだろうか？。その乗り場サウス・フェリーの駅は10月30日のハリケーンSandyで水没してしまった。自然の力は凄い、機関銃を使うまでも無く大都市ニューヨークは完全に麻痺してしまった。

サウス・フェリーの駅からブルックリン橋が見えたので炎天下を歩いていった。見えているのに遠い、橋の登り口はずっと左の方にある。引き返そうとも思ったけど途中ウォール街があって思いなおした。丁度お昼時で、丸の内の昼休みの雰囲気だ。タイムズ・スクエアとは違ったニューヨークの他の一面が見えた。橋の袂の公園にはリスが何匹も遊んでいた。「ムーディ、ムーディ！」とお姉さんが呼ぶと近づいてきた。(ついでに僕も近づいてしまった!)

写真リスト

- 1.空母INTREPID (New York ,19 Aug,2012)
- 2.ハドソン河畔 (New York ,19 Aug,2012)
- 3.空母とドッグラン (New York , 19 Aug,2012)
- 4.セントラル・パーク (New York , 19 Aug,2012)
- 5.タイムズ・スクエア (New York ,22 Aug,2012)
- 6.ハーレムの警官 (New York ,23 Aug,2012)
- 7.スタテン島フェリー (New York ,24 Aug,2012)
- 8.同上・自由の女神？ (New York ,24 Aug,2012)
- 9.ブルックリン橋 (New York ,24 Aug,2012)
- 10.市庁舎公園のリス (New York ,24 Aug,2012)







ニューヨークで一週間過ごし次にシカゴに向かったのだけど、そこでも色々あってとても書き切れない。シカゴの4日間は写真を1枚載せるだけで次の機会に譲る事とし、最終目的地ワシントンD.C.の話をしてしようと思う。(写真下:シカゴのダウンタウンを走る高架鉄道)



ワシントンD.C.には僕らの世代の歴史そのものがあった。しかも目の前に…!、まさに旅のクライマックスに相応しい!

キング牧師にジョーン・バエズ、“We shall overcome ~”の歌声、奈良の大仏殿を思わせるリンカーン記念館 (Lincoln Memorial: リンカーンはアメリカの大仏なのだ!?) の左手にはベトナム戦争戦没者慰霊碑 (Vietnam Veterans Memorial)。

スミソニアン航空宇宙博物館 (頭の上にリンドバークのスピリット・オブ・セントルイスがあった) にはグレン宇宙飛行士のフレンドシップ7 (アメリカ初の有人地球周回飛行)、ソ連上空を何度も飛んで最後に撃墜された偵察機U-2、僕が育って来た時代そのものの形が、全て残って居る気がした。ワシントン大行進のとき、リンカーン記念館の前でキング牧師が有名な“I have a dream”(私には夢がある)で始まる人種差別撤廃の演説をしたのは、僕の13歳の誕生日だった。

写真リスト

- 11.シカゴのダウタウン (Chicago ,28 Aug,2012)
- 12.リンカーン記念館 (Washington D.C. ,31 Aug,2012)
- 13.ベトナム戦争戦没者慰霊碑 (Washington D.C. ,31 Aug,2012)
- 14.スミソニアン航空宇宙博物館 (Washington D.C. ,31 Aug,2012))
(フレンドシップ7の上にリンドバークのスピリット・オブ・セントルイス)
- 15.同上・U-2 (Washington D.C. ,31 Aug,2012)
- 16.グレイハウンド・バス (New York ,19 Aug,2012)
- 17.スタテン島フェリー (New York ,24 Aug,2012)

ニューヨークに戻るアムトラック(長距離急行列車)の中で隣席の弁護士ディックと話をした。彼曰く、「レーガン、ブッシュはダメだ、戦争ばかりやっていた。オバマは好きさ!」、次の大統領候補ロムニーには首をかき上げて居た。「ワールド・ウォーII以降、アメリカは変わった。朝鮮戦争、ベトナム戦争…、海軍に居たけど僕が居た頃はクール・ウォー(冷戦)だった。だから戦闘は経験していないよ!」

日本に行ったら、京都を歩きたいと言っていた。建築とスペインが好きで話が合った。拙い英語で僕が建築に興味があると言うと「ビルバオ、知っているか、グッケンハイム?」、「あー、僕も行った事がある。フランク・オー・ゲーリー!」、グラナダ・ミハス…、ロンダの崖の上の橋の話で盛り上がった。

IN THIS TEMPLE
AS IN THE HEARTS OF THE PEOPLE
FOR WHOM HE SAVED THE UNION
THE MEMORY OF ABRAHAM LINCOLN
IS ENSHRINED FOREVER







それにしてもアメリカは広い。ディックも行ったことが無いところが沢山あると言っていた。長年強大な国として世界に君臨してきた国アメリカ合衆国、今また大統領選のニュースが世界を賑わせている。国の力とは何だろう、国土が広ければ力は強いのか？、アメリカ、ロシア、中国…、確かにそんな気がしないでもない。『寄らば大樹の陰？』、でも自然の力にはかなわない。

旅の間中、僕の耳に流れていた歌はサイモン&ガーファンクルの「アメリカ」(America: 1971)

All come to look for America ~

歌詞を見ると、この歌の主人公はピッツバーグまで来て、そこから恋人キャシーと共にグレイハウンド・バスに乗ってアメリカ探しの旅に出るようだ。こんな歌のようにアメリカを放浪したかったけれど、もうそんな時代でもないのだろう。(若く、希望に満ちた時代は終わってしまった!?)

炎天下のワシントンD.C.を歩きながら、ボブ・ディランの「時代は変わる」(The Times They Are a-Changin': 1964)を思い出した。それぞれに時代がある。

スピリット・オブ・セントルイスの時代(その時代、科学・技術は夢だった)、そして戦争を通して科学・技術が発達して来た時代、湯水の如く税金と人を使う政治の時代…。技術者である僕は、科学・技術の未来にたいして懐疑的になる。ベトナム戦争の犠牲者は200万人を超えている。太平洋戦争は5300万人だった。日本では『戦後60数年』とよく言うが、アメリカに戦後と言う言葉はあるのだろうか？

折しも東電福島で、「今後の処理に必要な人数が年間2万人、それに対して集められる人数は1万数千人」と言うニュースが流れていた。『福島原発で働いている人が居る。』そんな事すら、もうみんな忘れている。人は忘れる。忘れた状態で不毛な議論をつづけている。今はそう言う時代？

オバマが再選された。世界は変わって行くのだろうか…？





『続・僕のアメリカ』 完？